

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	「拘束をしない介護」についての勉強会の回数および研修への参加が当初の予定より大幅に少ない。	再度「研修計画」を立て、スタッフの研修への参加、参加者の発表の機会を多く持つ。	外部研修の参加機会が確保し難いのであれば、「内部研修」を適宜行い、全スタッフの意識を共有化する。	6ヶ月
2	26	介護計画を作成にあたり、入居者個々のデータがスタッフ間で共有出来ていない部分がある。	入居者やご家族の意見や要望が十分に反映された介護計画を作成する。	「センター方式」等を適切に活用し、アセスメント後の流れや記録の方法を見直し、スタッフが把握しやすい介護データを作成する。	6ヶ月
3	35	災害時に近隣や町会等と連携して行動する体制がまだ整っていない。	万一の火災や自然災害発生時に近隣の方々と連携して、救助や避難が行える体制を作る。	引き続き「運営推進会議」や「町会の会議」等で体制作りの話し合いを進める。	6ヶ月
4	4	運営推進会議にご家族の参加がない。	基本的に毎回1人以上の参加を確保する。	ご家族に再度運営推進会議の目的や内容の説明を行い、たとえ固定メンバーでなくても1人以上の参加を目指す。	12ヶ月
5	8	入居者の「権利擁護」について、スタッフの学習が進んでいない。	中堅スタッフの外部研修への参加。社内研修(勉強会)の実施。	今後の研修計画の中に組み入れる。社協などが実施する研修があれば、スタッフを参加させる。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。